

千葉港コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
千葉県	港湾脱炭素化推進計画の策定
	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
	ヤード内照明のLED化
	LNG燃料船・LNG燃料供給船への入港料減免制度の導入

[ターミナル概要]

千葉港コンテナターミナルは、水深-12m、延長240mの岸壁と、面積約73,000㎡のヤードを有し、京葉臨海工業地帯など首都圏の物流需要や充実した交通網等を背景に、東京湾の国際物流拠点として運営されており、複数の定期コンテナ航路が就航しています。

外貿コンテナ航路は、韓国、台湾、東南アジア方面などに就航しています。また、横浜港との間の国際フィーダー航路等も就航しており、トランシップにより、世界各地への輸送も可能です。

また、ターミナル内の環境負荷低減に向けた取組としては、インバータ制御方式のガントリークレーン（全2基）を導入するとともに、ヤード照明のLED化を推進しています。



認証レベル
Level 1

(認証日 令和8年8月25日)

CO₂排出量原単位
8.57kgs CO₂ / TEU



インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
(全2基)



脱炭素化推進協議会



ヤード内照明のLED化